

アンケート集計結果

シンポジウム

「流域圏の物質輸送に関する実態評価の現状と課題」

～陸域から内湾（湖沼）までを俯瞰的に理解する

第一回：微細土砂動態を通して～

主催：水工学委員会環境水理部会／水環境学会ノンポイント汚染研究委員会

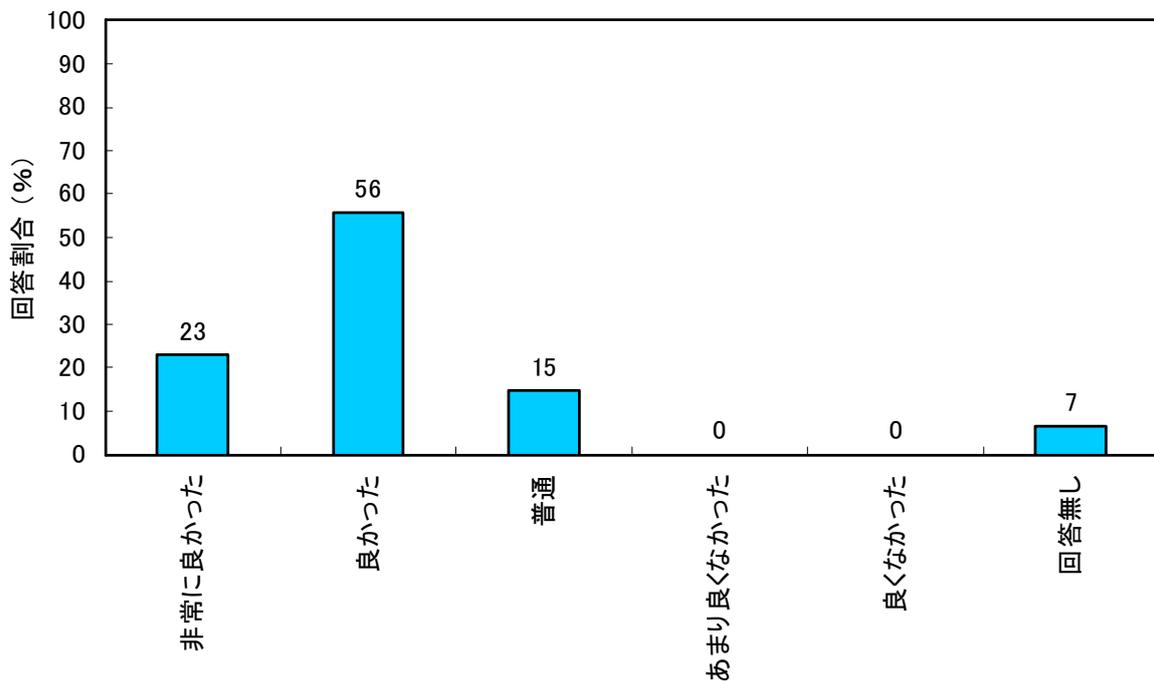
日時：平成22年12月15日（水）13：00～17：00

場所：東京理科大学森戸記念館第一フォーラム

参加者：104人

アンケート回答者：61人

Q 今回のシンポジウムは、いかがでしたか？（回答数：61）



良かった点（自由記載）

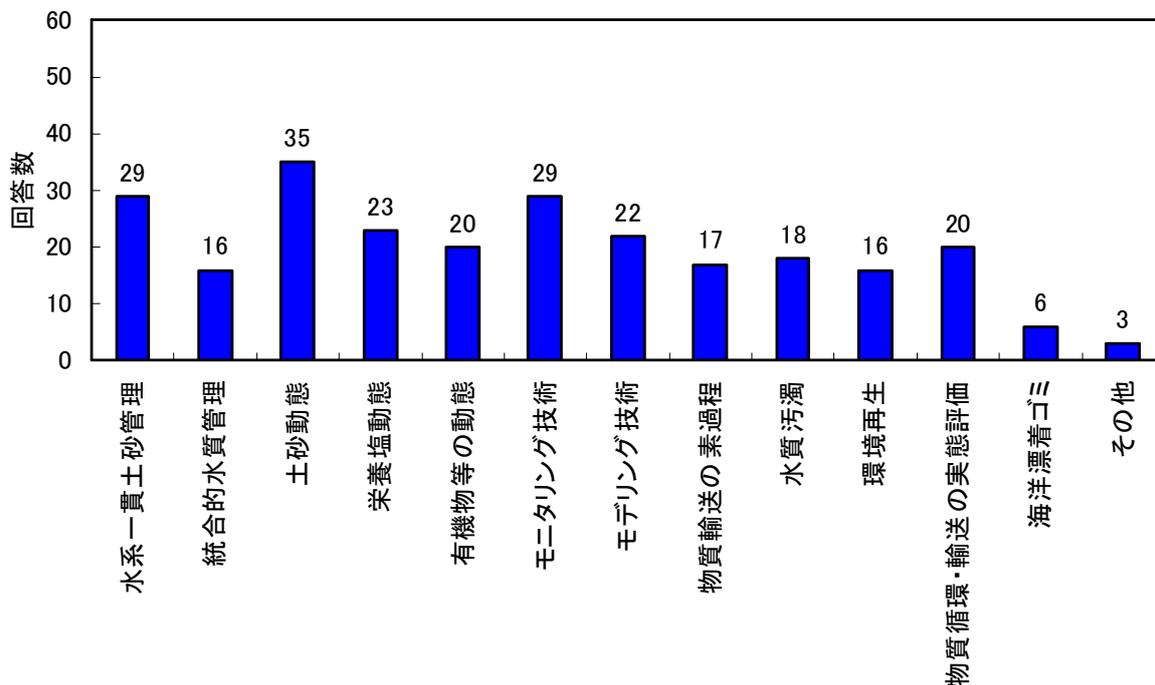
- 新鮮であった。
- 話題が豊富であった。質問も多く活発な討議が持てた。
- 源流～下流～海域までの現象を一度に聞けたから。
- ”現状と課題” というタイトルにいつわりなし。
- 流域スケールでの土砂動態が俯瞰できた。

- 現時点での研究の動態を知ることができた。
- 研究の全体像がある程度わかった。
- 資料が充実していたと思います。
- 内容が全ての講演で充実していた。
- 土砂流出についていろいろと勉強になった。
- 普段聞けない話題だったので。
- 多種多様な専門家からの考え、視点があったから。
- フィールドデータを大事にされた解析であり、解析先行ではなかった。
- 貴重な調査結果の詳細まで知ることができた。
- 個別の分野のトピックはわかった。
- 領域毎の情報を包括的に知ることができた。
- フィールド別にまとめられていた点。
- 最新の研究成果が聞けた。
- 様々なフィールドでの話題提供であった点。

良くなかった点（自由記載）

- ただ、門外漢で勉強しにきた私には未解明な点（途上の研究）が多く参考にならないものが多かった。
- 研究の現状がわからない。どこまで解明されているか不明。
- 時間が短い。
- タイトルと一部の内容が不一致。
- 分野分野に分かれすぎていて、全体として何を目指していくのかが少し不明瞭。
- 会場が若干狭かった。

Q 流域圏の物質輸送について、どのような情報・話題に興味がありますか？（複数選択可）（回答数：61）

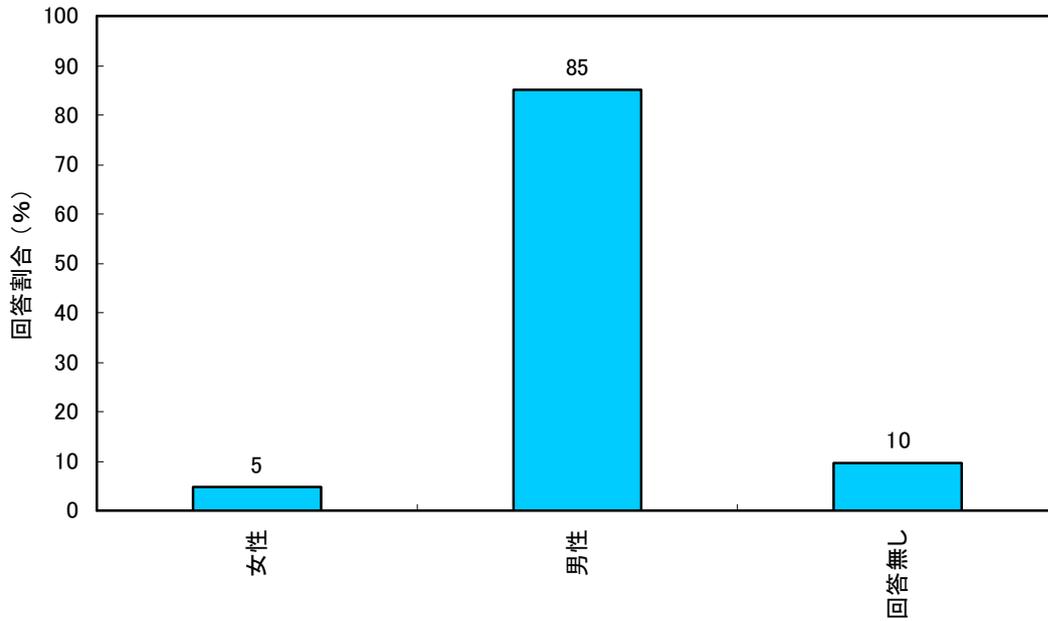


Q 今回のシンポジウムに対するご意見・ご感想を自由にご記入下さい。（自由記載）

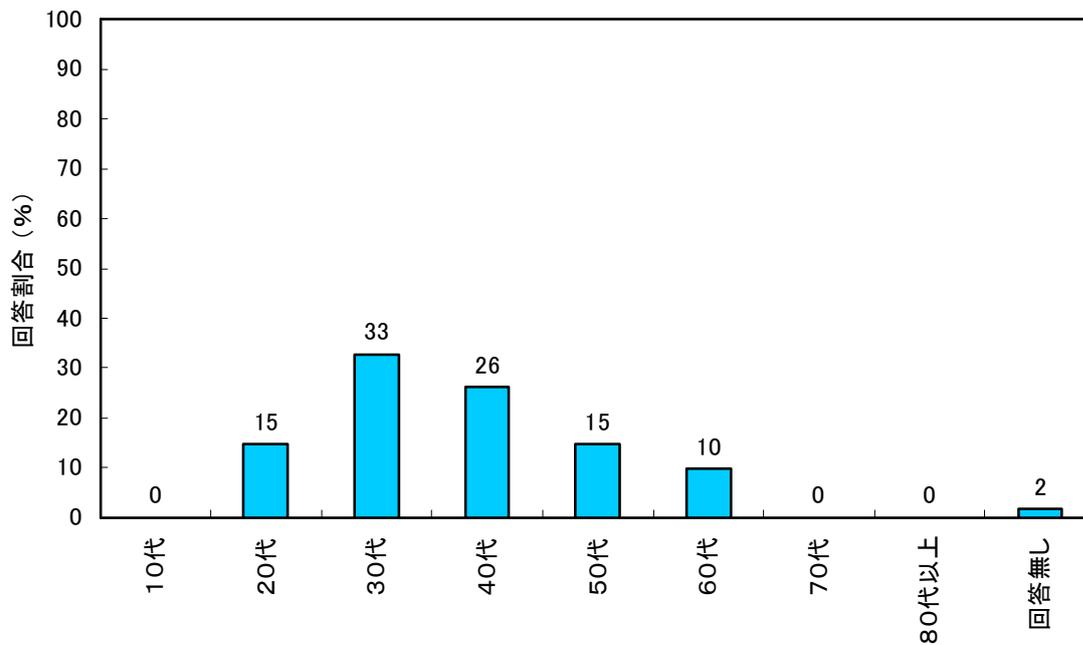
- 微細土砂の流出のモデル化に力点が置かれて、日単位の流量との関係が洪水や季節変動等を明瞭にしていたように思われるが、流域の環境修復を課題にする場合には、植生や土地利用の変化の実態を数年～数10年スケールで Clear にすることが重要である。また、流量変動についても ENSU や PDO 等の影響に留意した長期の分析が重要となろう。
- 工学的な発表が、生態系の小生にとっては新鮮であった。今後は相互連携が大切だと感じた。
- 大変興味深いシンポジウムであった（生物研究者にとって）。今後物質輸送の考えを広げ、生き物（海から川の上流をめざす魚・貝・甲殻類など）の物質輸送をも包含したシンポジウムを期待したい。
- 土砂動態の現状がわからない。ケース study が並んでいるに過ぎない感じがしました。
- 地質の方も入れて議論できるととてもよかったと思う。境界条件の設定は難しいが、少なくとも対象現場がどのような条件（日本の中で）かを示して欲しいと思う。
- 第一線の先生方の研究成果を伺うことができ、非常に参考になりました。コンサルという立場で本日学んだ事を活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- 背後地の条件別、粒径集団別の流送量に対する実証的な知見（一般化に足る知見）が不足していると思う。
- 関連して、有効なモデルがない（現場で使えるという意味）（結果として?）。
- 統合、連携が進むことに期待しています。
- 1つ1つの内容が濃いので、各講演について論文として発表しているものがあれば、そのリストが、レジメの最後にあるとよかった。

- どのような調査をすべきか、ということ、研究者の人から発信して欲しい。出水時なのか、表層の水質、SSなのか、河床上を流れる土砂なのか・・・。
- より実務に結びつくものがあればなお良い。実務者サイドの研究事例。
- 貴重な研究ありがとうございました。

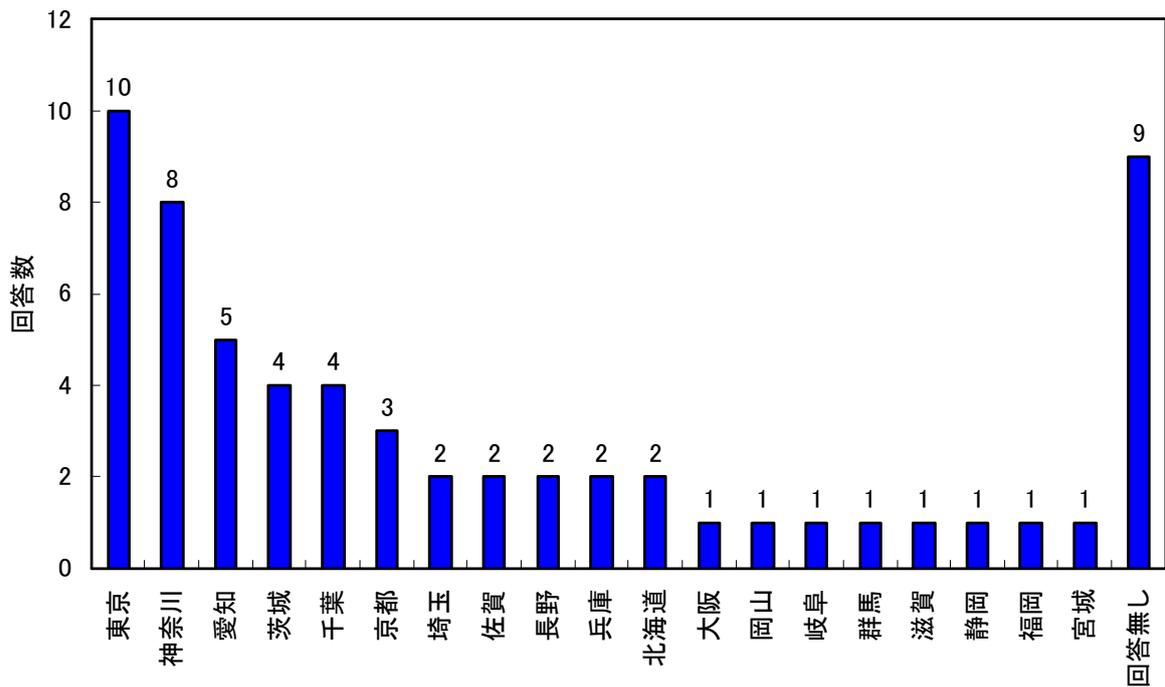
あなたの性別は？（回答数：61）



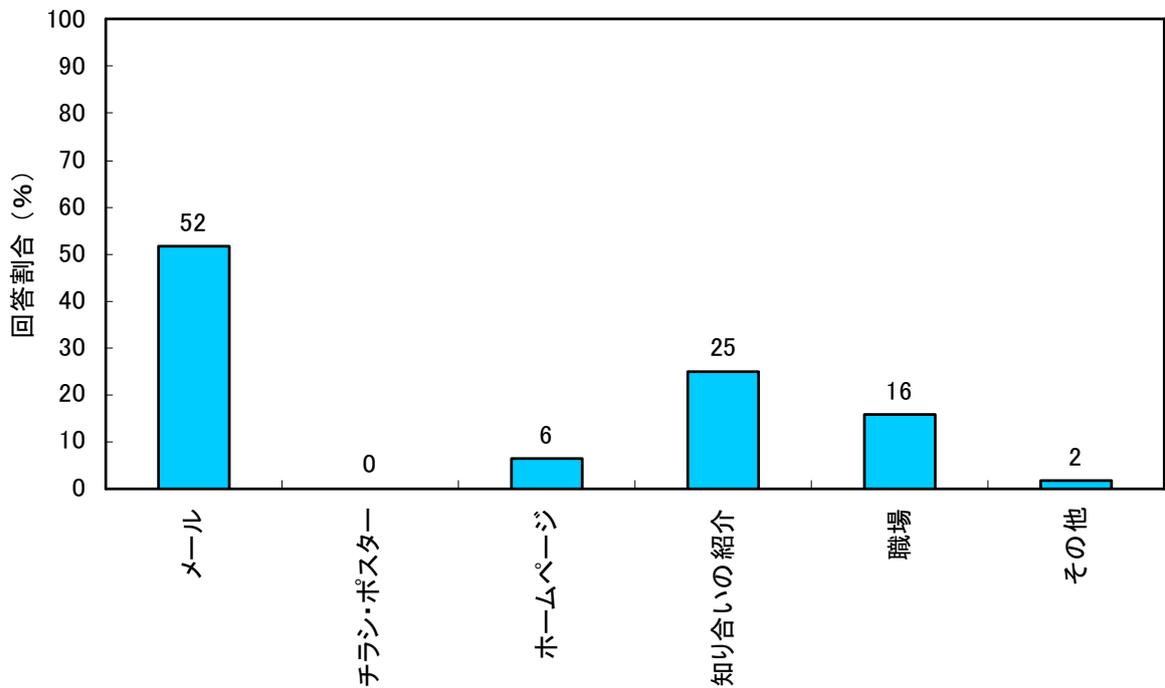
あなたの年齢層は？（回答数：61）



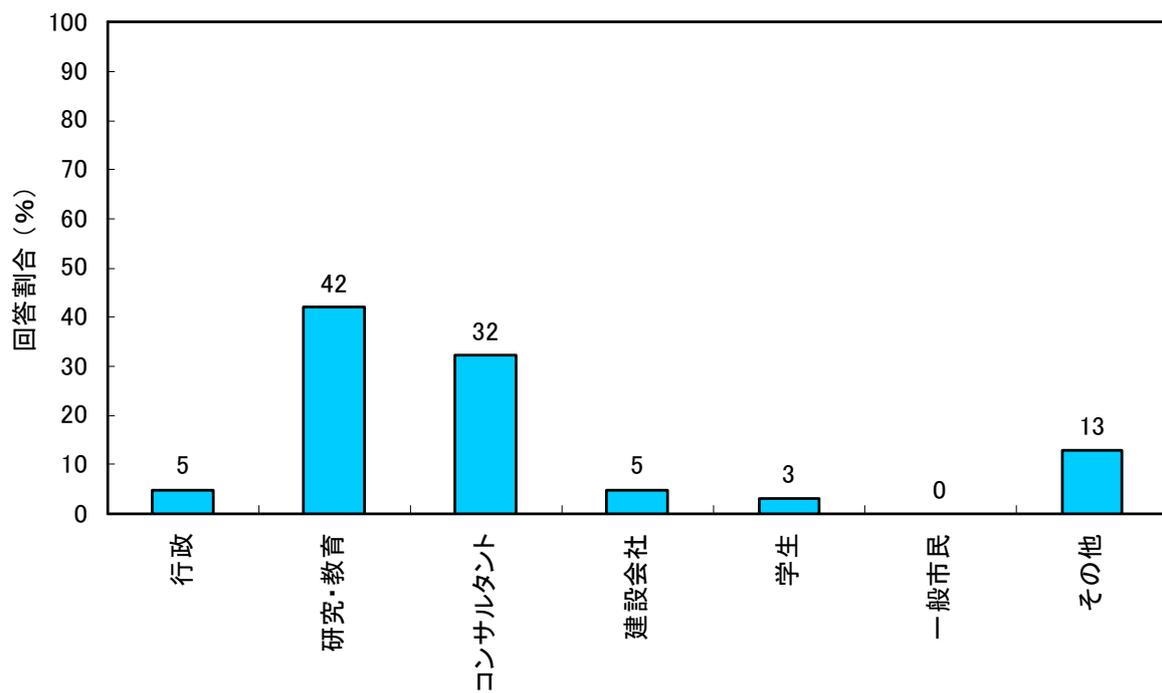
現在のお住まいはどちらですか？（回答数：61）



このシンポジウム開催をなにで知りましたか？（回答数：64、内複数回答3名）



あなたの業種（職種）は何ですか？（回答数：62、内複数回答1名）



行政部門（自由記載）

- 土木、環境
- 河川

その他（自由記載）

- NGO
- 財団
- 測器メーカー
- 商社
- 会社員